

2016 年度第 3 四半期 決算説明会 Q&A

Q: 16Q3 の生産高および稼働率を教えてください。また、16Q4 の生産高について教えてください。

A: 16Q3 生産高は 2,940 億円となりました。稼働率は全社が 20 日稼働日ベースで 100%、コンデンサは 27 日稼働日ベースで 90%となり、どちらも計画通りとなりました。16Q4 生産高は 10 月時点と変わらず 2,640 億円(1\$=100 円ベース)を想定しています。

Q: 中国スマホの部材不足の状況のアップデートをお願いします。

A: 中国スマホ全体で部材不足が解消したというわけではありませんが、中国スマホの中でも大手を中心に部材確保が出来る状況になっていると見ています。

Q: 通信モジュールのシェア挽回など来期に対する見通しを教えてください。

A: 得意先ごとの採用状況についてはお話しできませんが、高機能化が進む中でムラタの部品の需要増加には期待しています。また MLCC の最先端品である小型大容量品の採用や高機能化に対応した新商品の採用を期待しており、来期も 10%程度の成長が出来る環境と考えています。

Q: 来期設備投資の水準を教えてください。

A: 具体的な能力増強、金額はこれから算定しますが、設備投資は高水準を想定しております。

Q: 16Q4 の在庫増減の考え方を教えてください。

A: 16Q4 における在庫は従来の見方どおり 50 億円の増加を見込んでいます。

当 Q & Aに記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があります。これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。

(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当 Q & Aに記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。